

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 98 11月号

2013年11月1日 発行  
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

## 読書と私 No.90

### 「ようこそ！読書の世界へ」 揖保川町 三木 初代

幼い頃、毎晩絵本を読んでもらいましたが、私はどちらかというとストーリーよりも色鮮やかなイラストや様々なしなやかな夢中だったように思います。自身で読書ができるようになって、お天気のいい日は日暮れまで近所の子たちと外で遊び、雨が降ると家でまごごとや絵を描いて一日を満喫していました。だから学校の読書や読書感想文の宿題が大の苦手でした。

ところがある日、小学校の国語の授業で「おーいでてこーい」という星新一著のショートストーリーを読んで、まるで雷に打たれたような衝撃を受けました。ある村に直径1mぐらいの穴が見つかり、若者はその穴にむかって叫んだり、小石を投げ込みます。全く埋まる気配のない穴に人々はとうとう有害な廃棄物までどんどん捨てていきました。そしてある日、澄みきった空からかすかな人の声が聞こえ、小石が降ってきた・・・という内容です。警鐘が幼心に響きわたりました。それからは星新一氏の他の作品を自ら次々と読むようになりました。読破できた頃には、私の生活の中に読書の習慣がしっかり根づいていました。バスや電車利用時に読んだり、仕事の合間のリフレッシュ剤、また睡眠導入剤のような存在で、数十年間、常に本は私のそばにありました。

以前2時間にわたる腰の手術を受けました。無事手術を終えると、術前の激しい腰痛がうそのように消えていました。術部にも痛みはありませんでしたが、1週間、仰向けのままベッドに寝続ける事に早1日で悲鳴をあげました。そんな私に家族が心配そうに「何か欲しいものないか？」と聞いた時、すぐに「本！！」という私の返答に「へ?!」と家族は呆れ顔。そして本を開いたとたん、読書の神様に「ようこそ！」と本の世界へ誘われ、しばし苦痛が緩和されました。以後も毎日優しく見守られているような気がします。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。



『おーいでてこーい』  
星新一 他 著 講談社

『古代ローマ帝国 1万5000キロの旅』 アルベルト・アンジェラ 著 河出書房新社



本書は1枚の通貨と共に古代ローマ帝国を物語風に巡ることによって、人の暮らしを感じさせる歴史書となっている。

当時皇帝が変わるとその顔が刻印された通貨がすぐさま鑄造され、地中海南岸からヨーロッパ北部までのローマ帝国全土に運ばれたという。2世紀、トラヤヌス帝のセステルティウス貨（現在の2ユーロ程度）の行き先から、ブリテン島の辺境司令官の息子の服装やアフリカ・カルタゴの女性歌手の経歴など各地・様々な人物像が、遺跡出土品や当時の出版物・墓碑・モザイク画など最新の資料や研究から綴られる。

では、そのローマ帝国をゆるぎなく機能させていたものは何だったのか。それは、インフラ整備と戦闘のプロであるローマ軍団とローマ市民への福祉と娯楽であった。もともとローマ軍

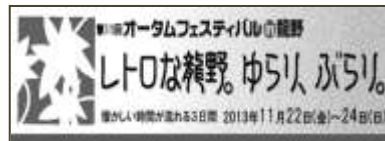
団を急行させるために作られた道路は、水はけを考へて2mの深さに3層の石を敷き詰めた。又、水道橋は1kmあたり25cmの勾配が1cmの誤差もなく水源から550km伸び、その堅牢さはナチスドイツでさえ破壊できなかったという。

ローマは武力によるだけでなく、便利な都市の建設など工学技術により世界を支配した。そして、同一貨幣、公用語のラテン語、共通の法、自由な商品の流通などを特徴とする史上初のグローバル社会を実現した。その社会は、身分制を除けば現代と極めて似通っている。離婚の増加や木材の需要過多による行き過ぎた森林伐採（カラカラ浴場では1日10t以上の薪が消費されていた）などである。

「全ての道はローマに通ず」とはその交通網を指すと共に、ローマ帝国の盛衰が現代の私たちの来し方行く末を指す道なのかもしれない。  
(新宮図書館 大西)

**トピックス**

オータムフェスティバル in 龍野



龍野地区の町並みを中心に、さまざまなイベントが開催されます。龍野図書館も会場として下記のイベントを開催します。是非お立ち寄りください。

◎ 貴重本「ミケランジェロ・ラ・ドツタ・マーノ、ちりめん本、三木露風書簡」一般公開

【とき】 11月23日(土・祝)・24日(日) 11:00~15:00

【場所】 2階 郷土資料室

◎ 龍野美術協会(日本画・洋画・写真部)作品展

【とき】 11月19日(火)~24日(日) 10:00~18:00

【場所】 2階 郷土資料室

◎ 龍野北高等学校によるイベント 11月23日(土・祝)

パネルシアター・絵本の読み聞かせ 【とき】 11:00~12:00 【場所】 1F 児童コーナー

電子工作教室 振ると絵が見える! 振ってライトを作ろう (材料費800円)

木工工作教室 木製からくり人形を作ろう (材料費500円)

健康チェック 血圧・肺活量・握力・BMI 測定

考えるお絵かきⅣ 色画用紙にボタンを使って絵を描こう

【とき】 11:00~15:00

【場所】 2階 研修室 ☆いずれも、事前の申込は必要ありません。

◎ 龍野アートプロジェクト関連イベント 11月24日(日)

アーティスト・トーク3 尹熙倉×今村遼佑+加須屋明子

【とき】 13:30~15:00 【場所】 2階 研修室 【定員】 60名 ※申込要

※ なお、龍野図書館は、オータムフェスティバルに伴い、23日(土・祝)は開館し、26日(火)を臨時休館いたします。

## おすすめする子どもの本・91

### 『りすのクラッカー』 ルース・エインズワース 作 福音館書店

むかし、1本のブナの木に、りすの家族が住んでいました。そのブナの木の近くに、1軒の家がありました。こりすのクラッカーは、枝をつたって家の窓の敷居に飛び移り、いつも子ども部屋を覗き込んでいました。部屋の隅々まで眺めていましたが、一番気に入っていたのは、おもちゃの動物が置いてある棚で、「自分もあの動物たちと一緒に棚に座っていたいなあ」と思っていました。

ある日、クラッカーはいつものように窓の敷居に飛び移り、少し開いていた窓から家の中にしのび込んで、棚に座ってみました。ところが、ほかの動物たちは不機嫌な顔をして、そっぽをむくのでした。自分たちは、上等の詰め物でできていて、大きな店で売られていた、高い値段の動物なんだと自慢しました。それに比べてクラッカーは、ブナの木からやってきた、ちゃんとした詰め物のない、変な動物なのです。クラッカーは、だんだん居心地が悪くなりまし

た。その時、黒猫がやってきて、くんくんとにおいをかぐと首をのぼし、クラッカーのことをじーっと見ました。それから、白いがった歯をむきだしにして「うーっ」とうなりました。クラッカーはびっくりして、大急ぎで外の枝へと逃げました。

無事に戻ることができたクラッカーは、自分が生きているりすで、ブナの木のなかで暮らしていることが本当にうれしく思いました。

茶色を基調とした絵から、秋の季節が感じられる絵本です。読んであげるなら4歳くらいから。  
(龍野図書館 三葉)

---

### 『まほうの馬』 A.トルストイ M.ブラートフ 文 岩波書店

両親が留守の間に小さい弟をつれさられた姉妹は、急いで後を追いました。さらっていったのは“わるいガチョウ”です。

娘が野原をかけて行くと、ペーチカ（大きなだんろ）がありました。娘がガチョウの行き先をたずねるとペーチカは、自分が焼いた黒パンを食べたら教えると言いました。けれども娘が、そんな粗末なパンは食べたくないと言ったので、ペーチカは娘に何も教えませんでした。同じように、りんごの木やミルクの川の言うことも聞き入れなかった娘は、やがて鬼ばばバーバ・ヤガーの家に出ました。

弟はここに連れてこられていて、二人はあやうく丸焼きにされるところを、やっとの思いで逃げ出しました。ところがバーバ・ヤガーに命じられた悪いガチョウが二人を追います。

逃げる道々には、来た時と同じようにペーチカやりんごの木がありました。が、今度はペーチカたちの言う通りにし、二人は無事に家に帰りつくことができました。  
(『わるいガチョウ』)

他に、ばかのイワンと呼ばれる若者が、魔法の馬の力を得て、美しい姫君と結婚する表題作など、骨太で素朴なお話が12編おさめられたロシアの昔話集です。

ロシアの自然や風土を感じさせるラチョフの挿絵とあいまって、民族色豊かな物語世界を伝えます。小学校3年生くらいから。  
(揖保川図書館 岡村)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段)・時間(下段)	11月の予定
<b>龍野図書館</b> TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 第3土曜日(11時～11時20分)	16日 『どうすればいいのかな?』他
	●子どもの本を読む会	一般 ※会場が変更になっています。 第2木曜日(10時～11時30分)	14日 『九つの銅貨』デ・ラ・メア 著
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	8日 『枯野抄』芥川 龍之介 著
	龍野アートプロジェクト関連行事「ハサミで描こう ― 絵本ができちゃった」講師:佐藤 文香 氏 【日時】9日(土)①10時～11時30分 ②13時30分～15時 【場所】龍野図書館研修室(2階) 【対象】①6才～小学生2年生 ②小学3年生～小学生6年生 【持ち物】ハサミ		
<b>新宮図書館</b> TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第2・4月曜日(11時～11時20分)	11日・25日 『わにわにのおふろ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 土曜日(11時～11時30分)	2日・9日・16日・30日 「ホットケーキ」他
	図書館コンサート「はじめての尺八」 演奏者:森 励山 氏(都山流尺八) アニメの主題歌から現代の作曲まで尺八の意外な音色をお楽しみください。 【曲目】となりのトトロ・春の海・岩清水 他 【日時】11月24日(日) 10時30分～11時30分 【対象】小学生～【定員】40名(要申込)		
	写真展「新宮を走る蒸気機関車」 写真:長澤 武 氏 貨物操車場の全景や出発シーン、雪の中の機関車など新宮の成長と発展を支えた蒸気機関車の写真を展示します。 【展示期間】11月30日(土)～12月15日(土) 【撮影者による説明】12月8日(日)14時～14時30分		
<b>揖保川図書館</b> TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	9日・16日 『わたしのワンピース』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	9日・16日 「さんまいのおふだ」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	15日 『置かれた場所で咲きなさい』渡辺 和子 著
<b>御津図書館</b> TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	10日・17日 『パンやのくまさん』他
	読書会	一般 第1火曜日(13時30分～15時30分)	5日 『冬のはなびら』伊集院 静 著